



株式会社アドバンスト・メディア

2026年3月期第2四半期（中間期）

決算説明会資料

2025年11月12日



見通しに関する注意事項

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

1. 業績の概況

専務取締役 経営推進本部長
立松 克己

1-1. 決算ハイライト

- 各企業で生産性向上に生成AI等のAI技術を活用するニーズの高まりを背景に、そのインターフェースとなるAI音声認識AmiVoice® APIの利用や、AI音声認識AmiVoice® の各種製品やサービスの導入・利用の継続が堅調に推移
- BSR1（第一の成長エンジン）において、各事業部で継続性のあるサブスクの利用を順調に伸長させストック売上高は増加
- 一方で、CTI事業部における利益率の高いフロー型販売の売上高の減少により、前年同期比で2.5%の減収
- 今後の次世代のコミュニケーションを体現する新規サービスの市場投入やプラットフォームビジネスの拡大に向けて人材の採用や開発等の投資を実施

売上高

3,175百万円
0.3%増収
(過去最高)

営業利益

490百万円
△30.4%減益

経常利益

548百万円

△27.9%減益

親会社株主に帰属する
中間純利益

655百万円

19.9%増益

1 - 2. 各指標の推移

単位：百万円

	2024年3月期 中間期	2024年3月期	2025年3月期 中間期	2025年3月期	2026年3月期 中間期
売上高	2,887	6,001	3,165	6,665	3,175
(増収率)	24.8%	15.9%	9.6%	11.1%	0.3%
売上総利益	2,173	4,474	2,388	4,933	2,314
(売上高比率)	75.3%	74.5%	75.5%	74.0%	72.9%
販売管理費及び 一般管理費	1,509	3,107	1,683	3,491	1,824
(売上高比率)	52.3%	51.7%	53.2%	52.4%	57.4%
営業利益	663	1,367	704	1,442	490
(売上高比率)	23.0%	22.7%	22.3%	21.6%	15.4%

1-3. BSR1・BSR2の実績

注) 連結調整前

BSR 1 第一の成長エンジン (既存コア事業)



CTI事業 / VoXT事業
医療事業 / SDX事業

BSR 2 第二の成長エンジン (新規ビジネス・海外・子会社)



BDC本部 (アミサポ) / 海外事業
AMIVOICE THAI / 速記センターつくば

売上高

2,811百万円

前期比 2.5%減

売上高

392百万円

前期比 31.3%増

営業利益

538百万円

前期比 30.1%減

営業利益

-51百万円

赤字幅縮小

1-4. 分野別の実績①

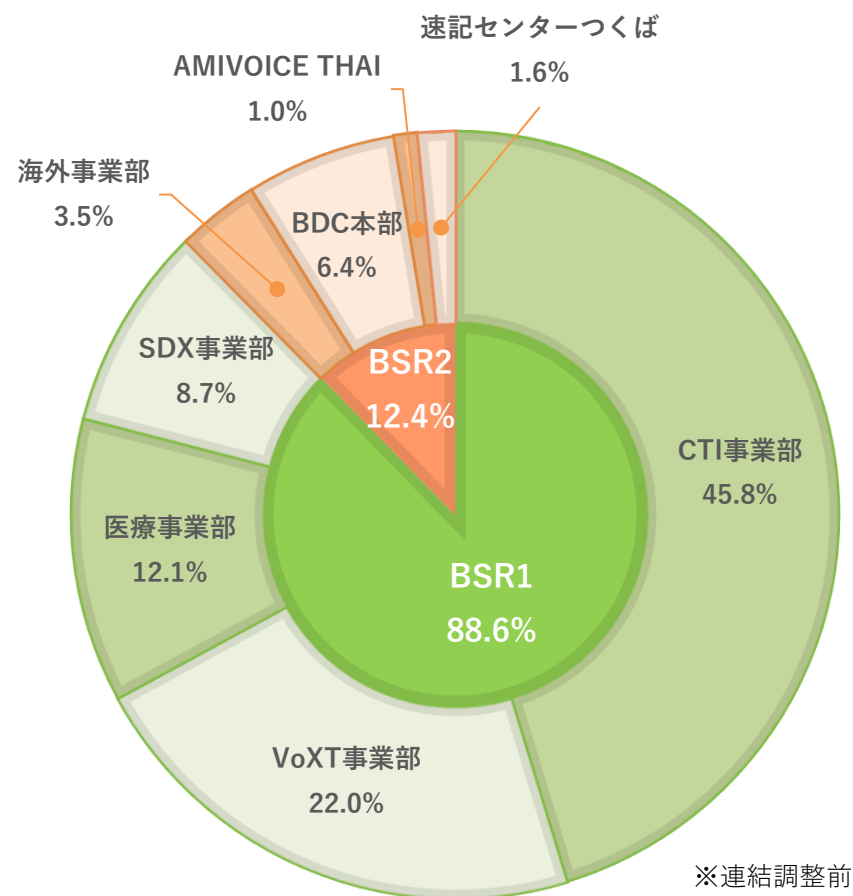
単位：百万円

		売上高			営業利益		
		2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	対前年比	2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	対前年比
B S R 1	CTI事業部	1,453	1,557	-6.7%	305	507	-39.8%
	VoXT事業部	697	650	7.2%	169	179	-5.6%
	医療事業部	385	378	1.7%	94	81	15.8%
	SDX事業部	276	298	-7.5%	-30	2	-
	合計	2,811	2,885	-2.5%	538	770	-30.1%
B S R 2	海外事業部	110	60	81.9%	-6	-12	-
	BDC本部（アミサポ）	201	165	21.8%	-32	-26	-
	子会社 連結 AMIVOICE THAI	30	24	25.3%	-16	-35	-
	速記センターつくば	49	48	3.3%	4	5	-13.2%
	合計	392	299	31.3%	-51	-68	-
連結調整		-29	-20	-	3	3	-
合計		3,175	3,165	0.3%	490	704	-30.4%

1-5. 分野別の実績②

【売上比率】

		2026年3月期 中間期	2025年3月期 中間期
BSR1	CTI事業部	45.8%	49.2%
	VoXT事業部	22.0%	20.5%
	医療事業部	12.1%	12.0%
	SDX事業部	8.7%	9.4%
	合計	88.6%	91.2%
BSR2	海外事業部	3.5%	1.9%
	BDC本部（アミサポ）	6.4%	5.2%
	子会社 AMIVOICE THAI	1.0%	0.8%
	速記センターつくば	1.6%	1.5%
	合計	12.4%	9.5%
連結調整		-0.9%	-0.6%
合計		100.0%	100.0%

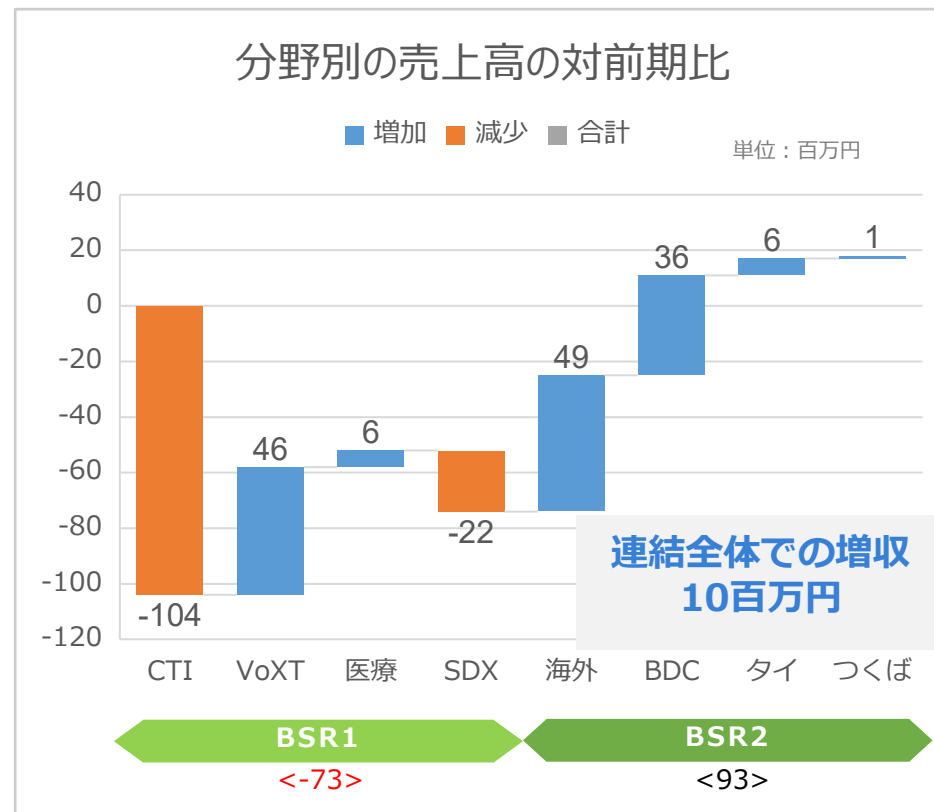
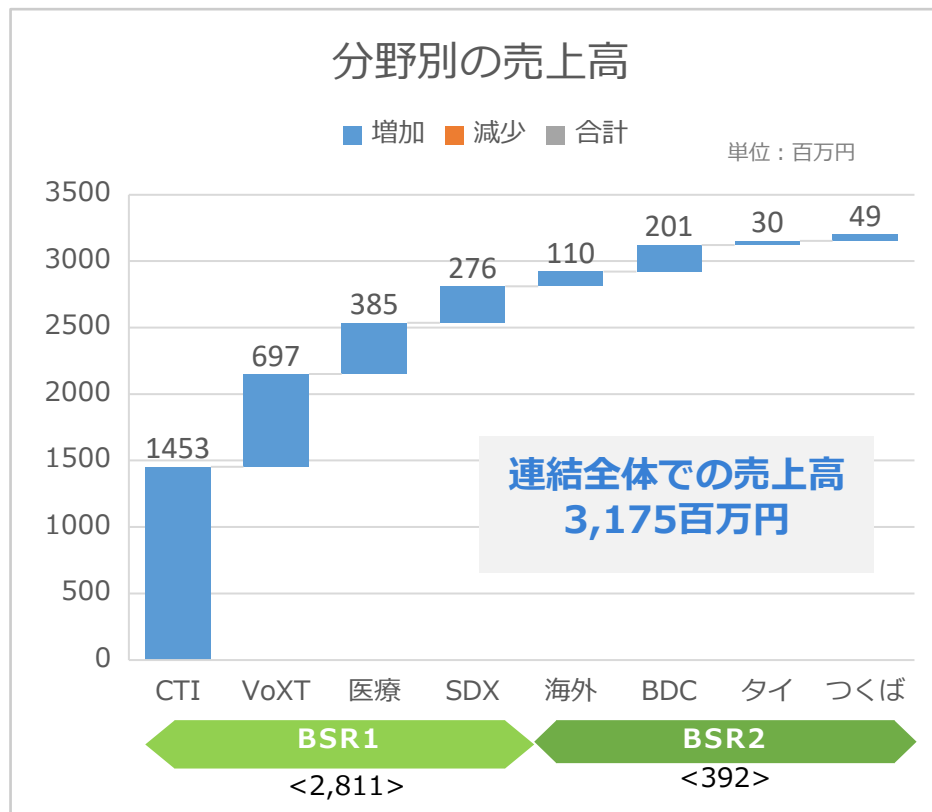


1-6. 分野別の実績③

		増収増益	増収減益	減収増益	減収減益
CTI事業部					◎
VoXT事業部			◎		
医療事業部		◎			
SDX事業部					◎
BSR 1					◎
海外事業部		◎（赤字縮小）			
BDC本部（アミサポ）			◎（赤字拡大）		
連結 子会社	AMIVOICE THAI	◎（赤字縮小）			
	速記センターつくば		◎		
BSR 2		◎（赤字縮小）			
AMIグループ			◎		

1-7. 売上高の分析

注) 連結調整前



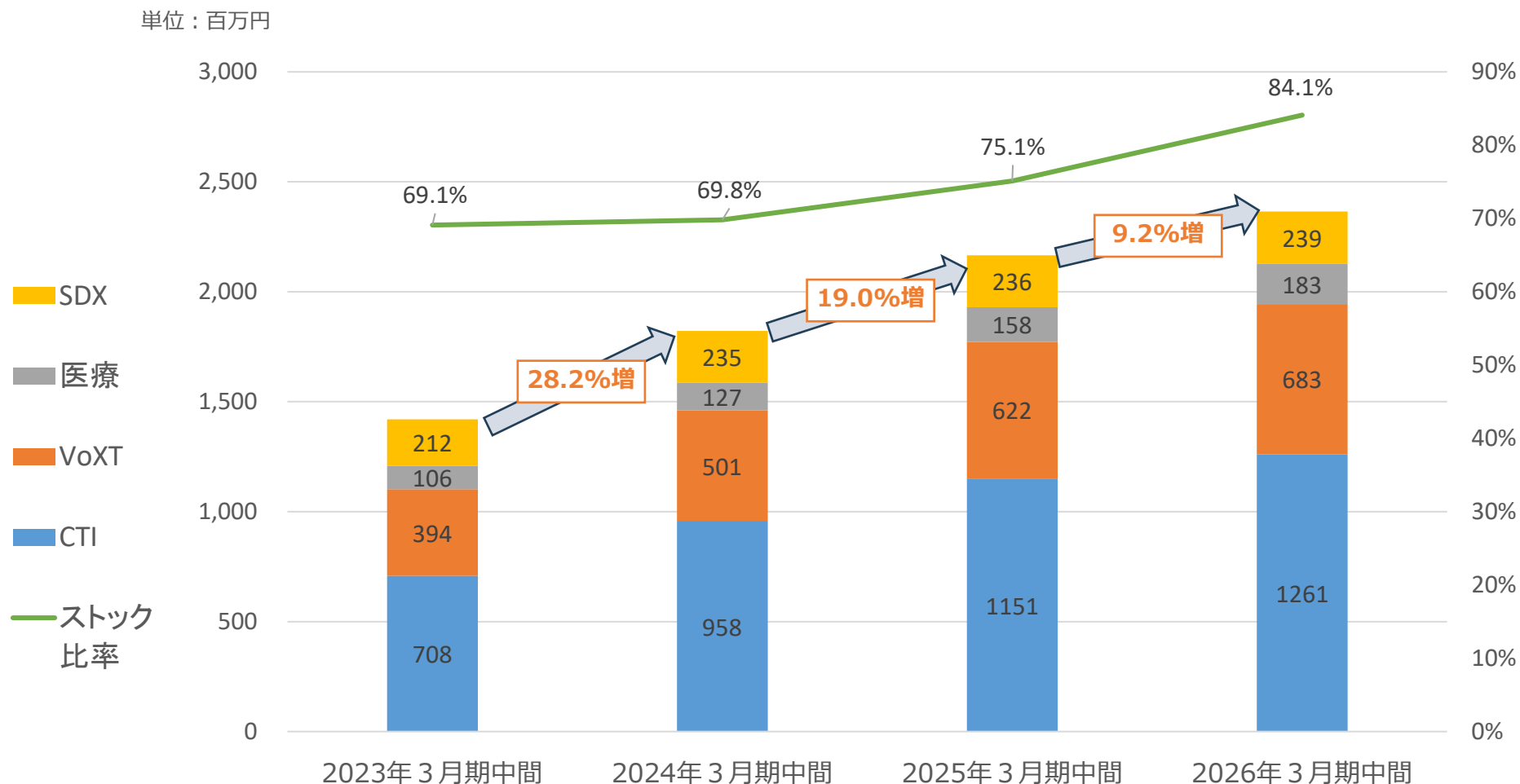
BSR1 (第一の成長エンジン)

CTI事業部において利益率の高いフロー型販売の減少の影響を受け前年同期比2.5%減

BSR2 (第二の成長エンジン) 海外事業部、BDC本部が増収し前年同期比31.3%増

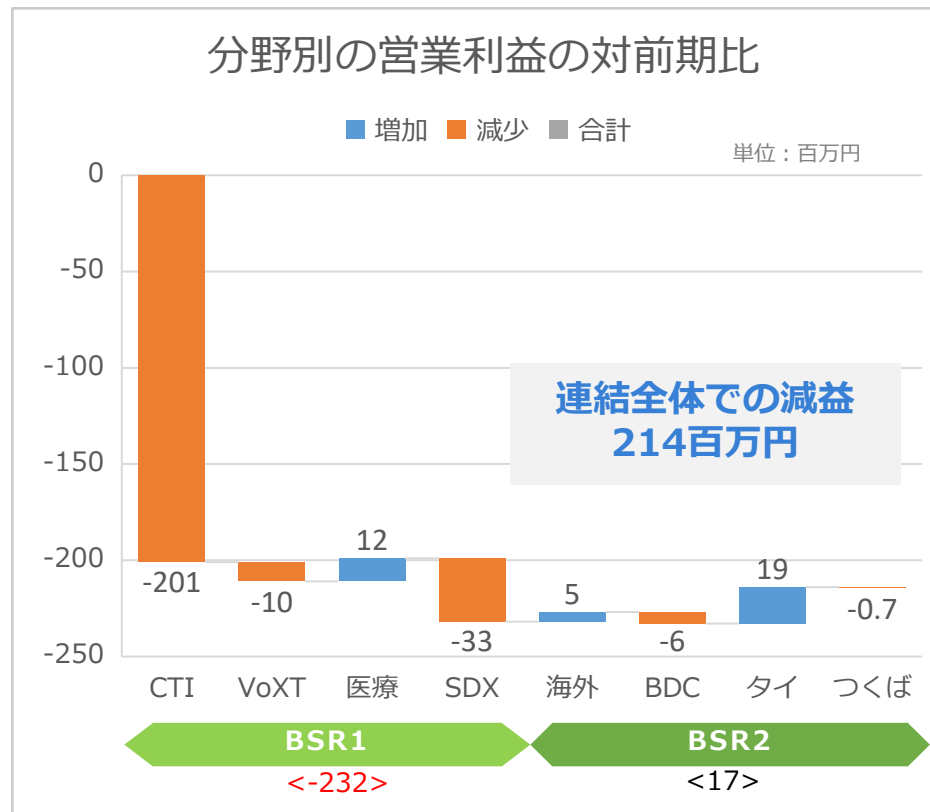
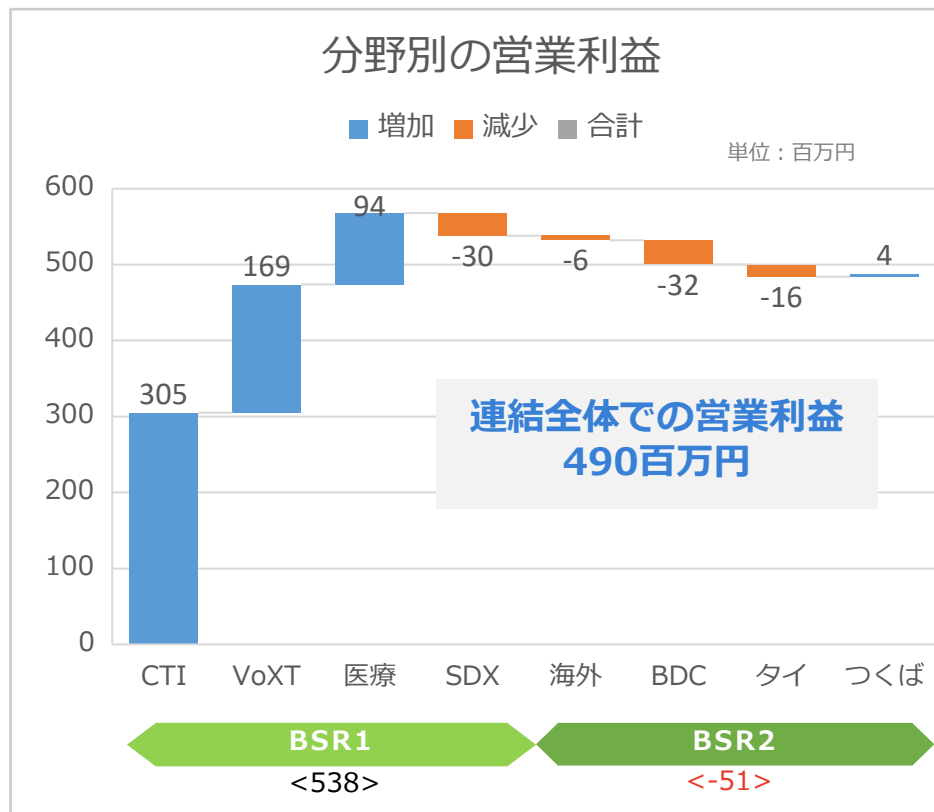
当社グループ全体では、前年同期比0.3%の増収で過去最高の売上高

1-8. ストック売上金額、ストック比率の推移（BSR1）



1-9. 営業利益の分析

注) 連結調整前



BSR1（第一の成長エンジン）

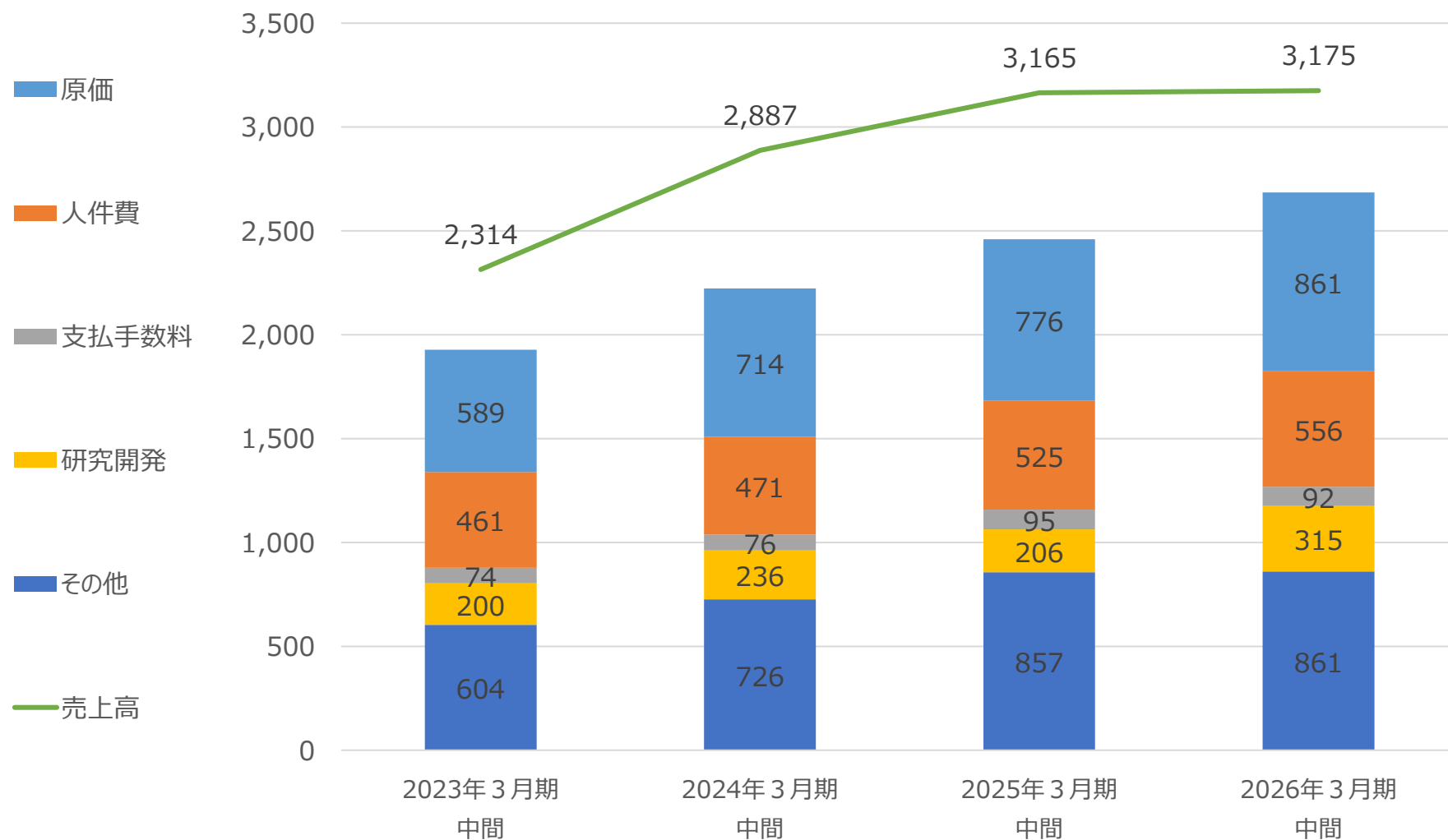
CTI事業部において利益率の高いフロー型販売の減少の影響を受け前年同期比で30.1%の減益

BSR2（第二の成長エンジン）赤字幅縮小

当社グループ全体では、前年同期比30.4%の減益

1-10. コスト構造

単位：百万円



1-11. 配当について

配当方針

当社は、株主の皆様に対して利益還元を経営の重要事項のひとつと位置付け、当社の事業拡大に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を勘案し、連結配当性向30%（1株当たり当期純利益の30%を1株当たりの配当金とする）を基準として、株主への利益還元に取り組むことを基本方針としております。

また、自己株式の取得につきましては、株主還元および資本効率の向上等を目的に機動的かつ弾力的に実施する方針であります。

基準日	中間期末	期末	合計
2026年3月期 (予想)	0.00円	30.00円 (内、記念配当2.50円)	30.00円 (内、記念配当2.50円)
2025年3月期 (実績)	0.00円	27.50円	27.50円 (連結配当性向30.4%)
2024年3月期 (実績)	0.00円	19.50円	19.50円 (連結配当性向30.1%)

1-12. 2026年3月期連結業績予想

売上高 **8,000百万円（20.0%増）** **※過去最高**
営業利益 **1,800百万円（24.8%増）** **※最高益**

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想数値	8,000	1,800	1,800	1,400	89.61円
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	6,665	1,442	1,539	1,408	90.40円

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。



2. 今後の事業展開

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

音声認識からAIの市場開発へ

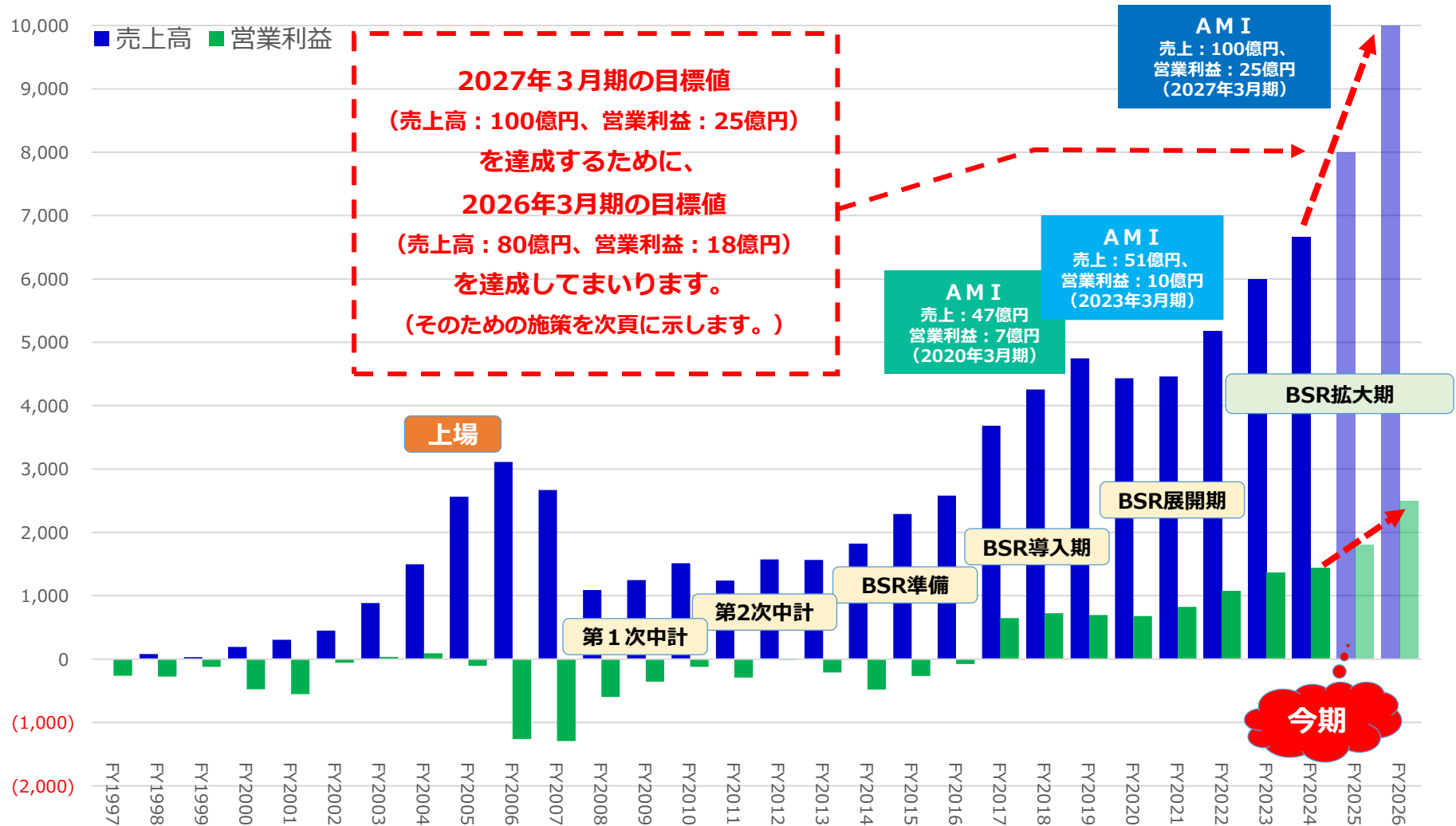
これまで
創りあげた
日本での音声認識の
市場シェアNo.1という
日本語の音声認識の強みを活かした

当社ならではの
AI音声認識とパーソナライズAIにより
ビジネスの規模を拡大してまいります

そして
顧客のサステナビリティに貢献することにより
サステナブルな社会創りに貢献してまいります

これまでとこれから

(単位：百万円)



計画達成に向けた施策

BSR拡大期の最終年度である
2027年3月期に売上高100億円、営業利益25億円を実現

そのための施策

その1. 音声認識市場開発の深化

その2. プラットフォームビジネスの拡大

その3. 新規サービスの市場投入

I. 音声認識の市場開発の深化

M-Dev（エムデブ）※1 によるビジネスの拡大

➤ これまでの音声認識の市場開発

既存の顧客のニーズを分析して製品を開発し

PoC※2などにより顕在化されたニーズを反映した製品として浸透（マーケットイン）



➤ これからの音声認識の市場開発

顧客の潜在ニーズを顕在化するための開発や市場への浸透などを、

他社との連携により行い、市場開発の規模と速度を高める

M&Aも有力な手段

※1 M-Dev（エムデブ：Market Development with Market Deployment）：市場開発を他社との連携で行う（M&Aも含む）

※2 PoC（Proof of Concept）：製品の期待効果の検証のために行われるプロセス

Ⅱ. プラットフォームビジネスの拡大

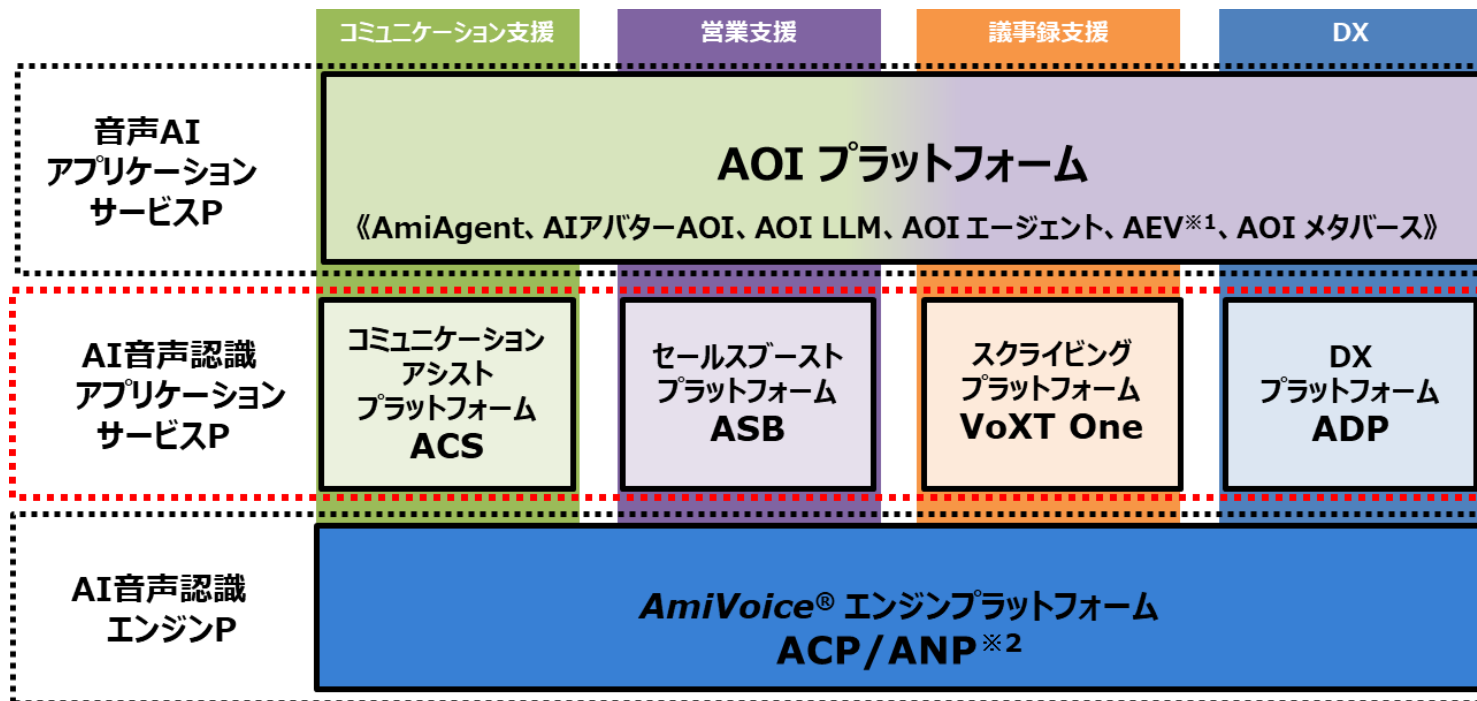
新たな利用料モデル（特許取得済み）により

➤ 営業支援プラットフォームとDXプラットフォームの市場投下

➤ 新たな利用料モデル（特許取得済み）の導入

☆サブスクの利用料を従量利用料に変換

→ これまで、利用時間の問題で利用を断念していた利用者に使わせることや
スキリングを安価に行うことができ
AIを使い仕事を効率化することやAIを相棒にして仕事を快適にすることに繋げられる



Ⅲ. 新規サービスの市場投入

人やAIとの次世代のコミュニケーションサービス

➤ アミボイスAIEージェント (特許取得済み)

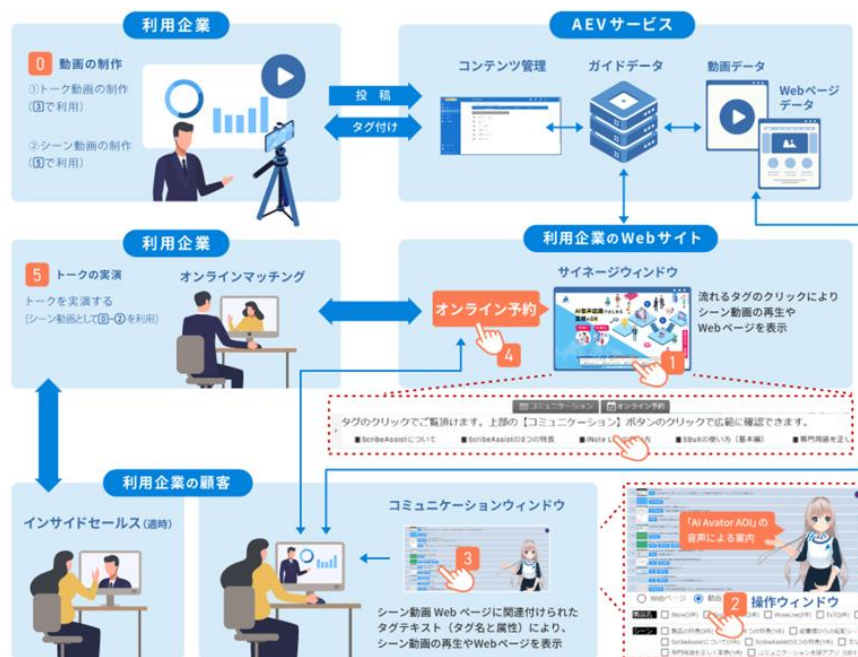
プロンプトやデータを交えた
自然なコミュニケーションにより
キーボードやマウス操作を
AIに代行させることで
仕事の効率や快適性を高めることができるAI※1



※1 VK (声キーボード) : キーボードの操作を代行する
VM (声マウス) : マウスやキーボードの一連の操作を代行する

➤ アミボイス・イージービューワ (AEV) (特許取得済み)

Webサイトに、人の心を動かす動画とコミュニケーション機能を導入することで、サイトの来訪者とのオンラインミーティング※2を提供できるサービス



※2 オンラインミーティングへの導線：
① 動画の制作 ② サイネージウィンドウ ③ 操作ウィンドウ
④ コミュニケーションウィンドウ ⑤ オンライン予約 ⑥ トークの実演



ご視聴ありがとうございました



Company Overview



※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2025」



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

設立

1997年12月10日

資本金

69億3031万円

発行株式数

18,392,724株

上場市場

東京証券取引所グロース市場（3773）

所在地

■ 本社

東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42階

■ 大阪支社

大阪府大阪市西区立売堀1-3-11 ダイタイビル5階

■ 名古屋営業所

愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302

■ 福岡営業所

福岡県福岡市博多区博多駅前3-23-12 博多光和ビル2階

代表

代表取締役会長兼社長 鈴木清幸

従業員数

社員数 単体：255名（平均年齢37.2歳）
連結：284名

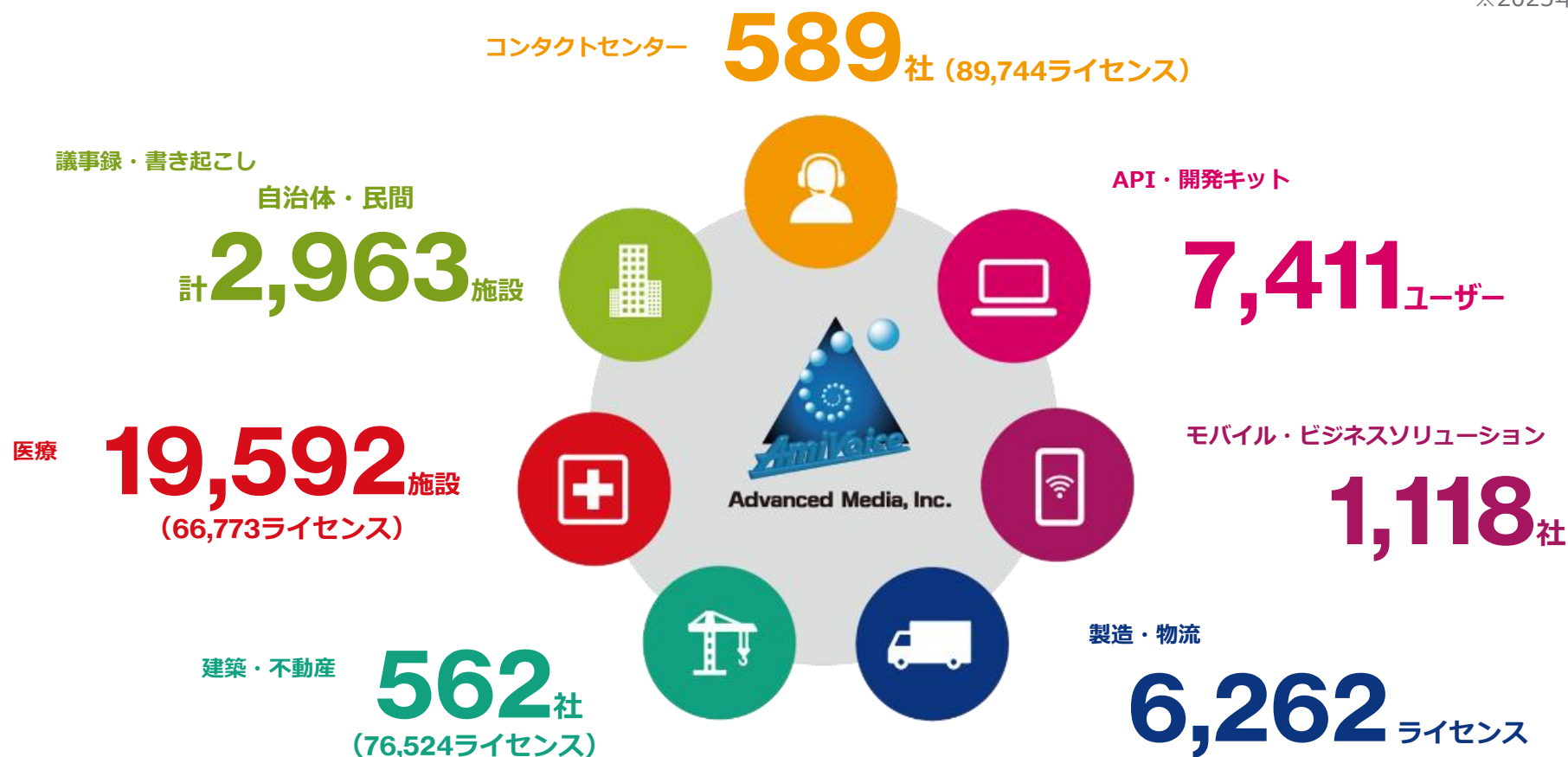
（2025年9月時点）



※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2025」

音声認識の市場開発のこれまで

※2025年9月現在



#音声認識で つくりたい未来へ

Philosophy

もしも、人とキカイが
自然な会話でつながる未来を
実現できるなら。

AI 音声認識 国内シェアNo.1*の
「AmiVoice®」があれば、
そんな楽しい世界だって、
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、
ワクワクできる未来をあたりまえに。
私たちは、
アドバンスト・メディアです。

AmiVoice®

※出典：合同会社ecarlate「音声認識市場動向2024」ソフトウェア/クラウドサービス市場

Copyright © Advanced Media, Inc. All Rights Reserved.



APPENDIX

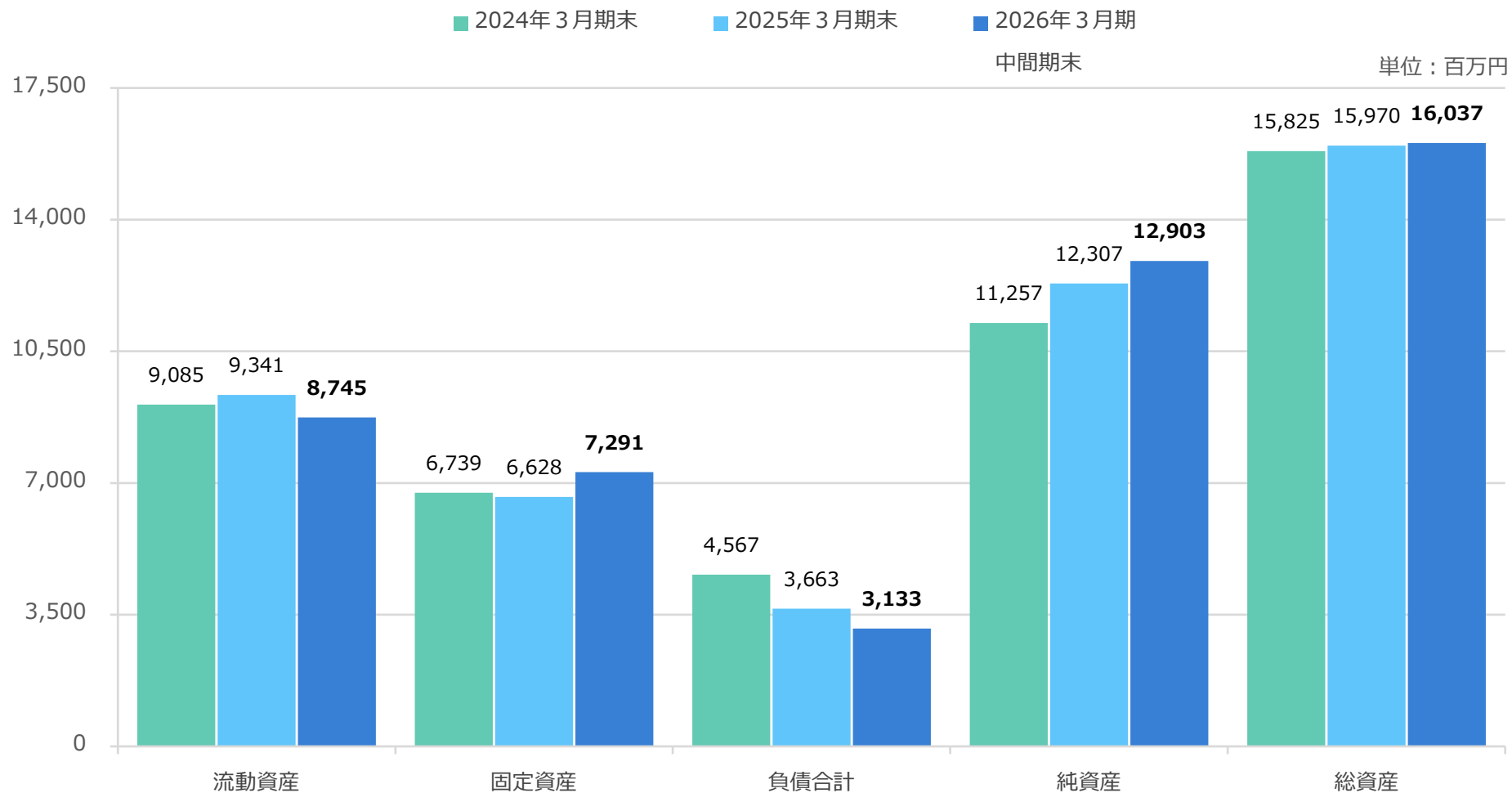


連結損益計算書

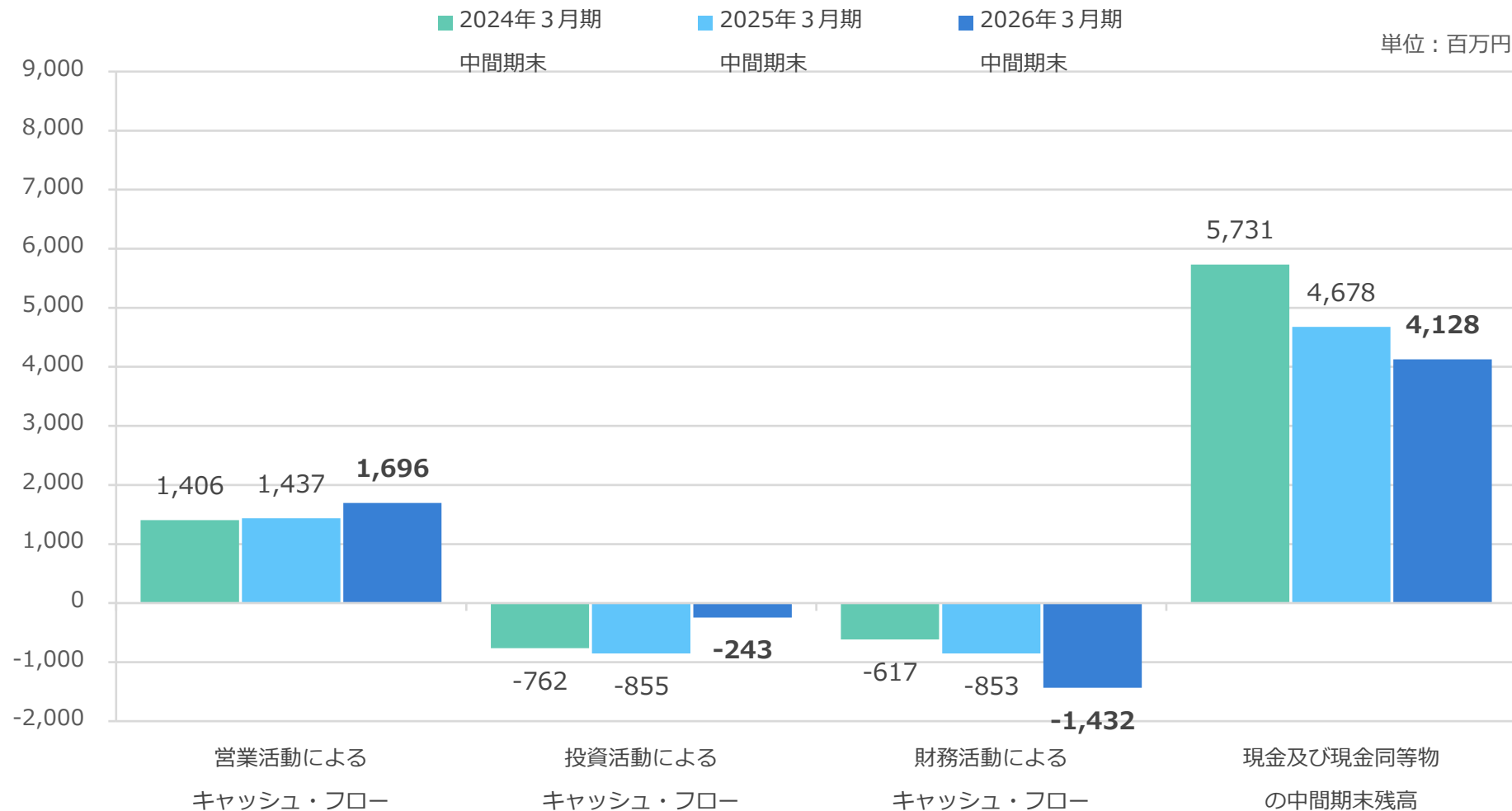
単位：百万円

	2026年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		対前年増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	3,175	100.0%	3,165	100.0%	10	0.3%
売上原価	861	27.1%	776	24.5%	84	10.8%
売上総利益	2,314	72.9%	2,388	75.5%	-73	-3.1%
販売費及び 一般管理費	1,824	57.4%	1,683	53.2%	140	8.4%
営業利益	490	15.4%	704	22.3%	-214	-30.4%
経常利益	548	17.3%	760	24.0%	-212	-27.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	655	20.6%	546	17.3%	108	19.9%

連結貸借対照表

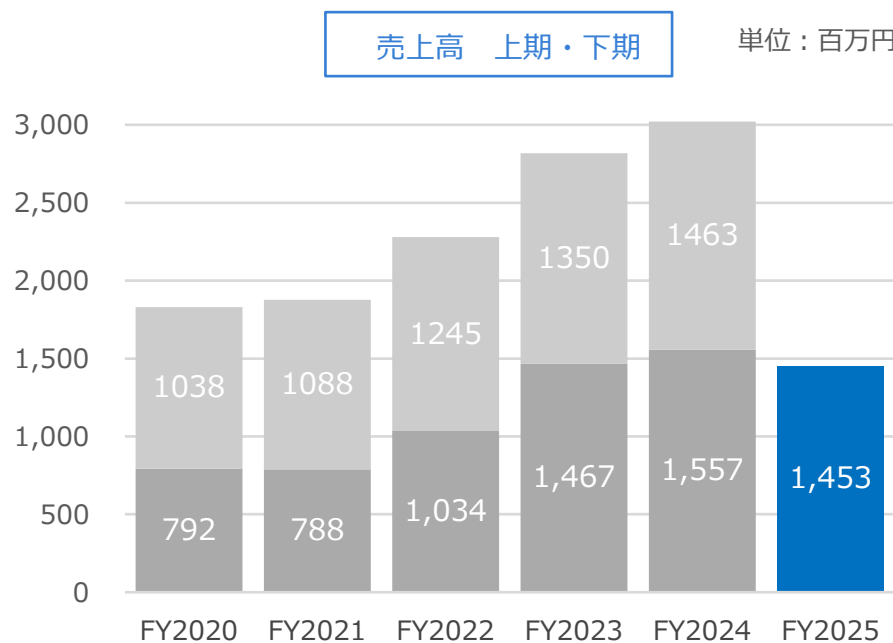


連結キャッシュフロー計算書



CTI事業部（コンタクトセンター業界向け事業）

- ▶ 大手SIerを中心とした販売パートナーと連携し、コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション「**AmiVoice® Communication Suite**」の顧客企業数の拡大を推進
- ▶ アルティウスリンク株式会社やテクマトリックス株式会社の製品と「**AmiVoice® Communication Suite**」との連携など、パートナー企業との連携を推進
- ▶ ボイスボットのAI音声認識自動応答サービス（AI-IVR）「**AmiVoice® ISR Studio**」やオペレータの対応品質の向上を支援するサービス「**AmiVoice® CQM Assist**」の市場導入
- ▶ **ストック比率：第1四半期末89.9%→当中間期末86.7%**
- ▶ **ライセンス数（累計）：第1四半期末83,851→当中間期末89,744**

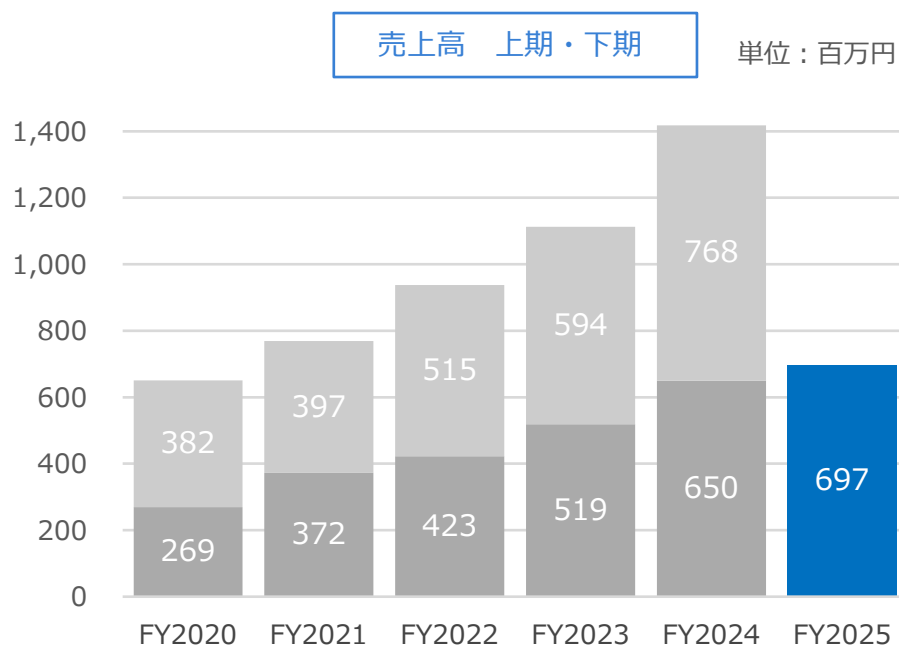


◆ AOI LLM for AmiVoice® Communication Suite



VoXT事業部（議会・会議ソリューション事業）

- ▶ スタンドアローン型の議事録作成・文字起こし支援アプリケーション「**ScribeAssist**」、クラウド型のサービス「**ProVoXT**」、それらのプラットフォーム「**VoXT One**」の需要が増大し、ユーザー数が増加
- ▶ 生成AIを活用し議会の議事録から一問一答形式で要約を生成する「議会だより作成支援サービス」に加えて、「**ScribeAssist**」をバージョンアップし、テキスト化から要約までオフラインで完結する「スタンドアローン要約」などの新機能の提供を開始
- ▶ **ストック比率：第1四半期末99.1%→当中間期末98.0%**
- ▶ **ライセンス数（累計）：第1四半期末20,797→当中間期末20,825**



VoXT One

VoXT One
by AmiVoice

議事録の悩みはすべて VoXT One で

インターネット接続なしで使えるスタンドアローン型

ScribeAssist
by AmiVoice

新プロダクト・サービス

VoXT One
アカウント

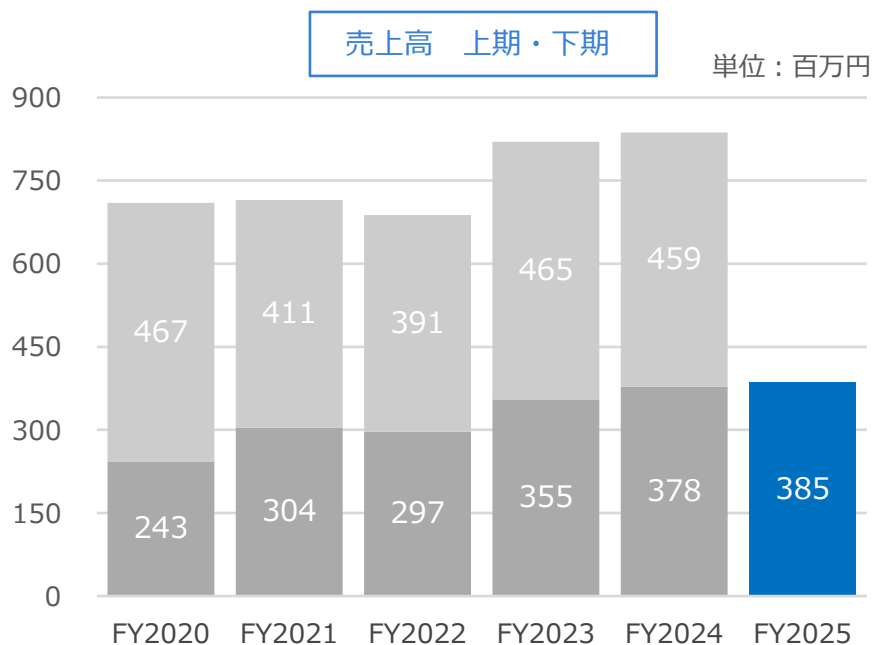
ワンストップで使えるクラウド型

新プロダクト・サービス

ProVoXT
by AmiVoice

医療事業部（医療業界向け事業）

- ▶ 「医師の働き方改革」で医師の勤務時間の適正化に向けた取り組みが必要となっており、病院における医師や看護師、医療従事者の業務効率化へのニーズが高まり、AI音声入力ソフト「**AmiVoice® Ex7**」シリーズやAI音声認識ワークシェアリングサービス「**AmiVoice® iNote**」の販売が好調
- ▶ **ストック比率：第1四半期末52.5%→当中間期末47.5%**
- ▶ **ライセンス数（累計）：第1四半期末66,434→当中間期末66,773**

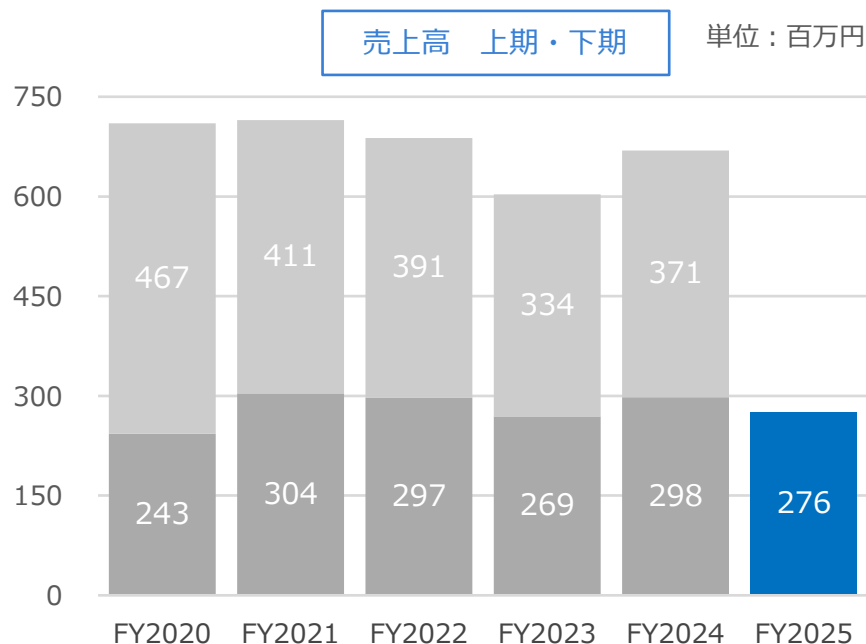


◆ **AmiVoice® Ex7** / **AmiVoice® iNote**



SDX事業部（API・SDK/接客・商談ソリューション/製造・物流業界向け事業）

- ▶ AI音声認識**AmiVoice®** エンジンプラットフォームのクラウド型のエンジン利用サービス「**ACP (AmiVoice® Cloud Platform)**」の利用時間やスタンドアローン型のエンジンを利用するためのSDKの利用企業数が増加
- ▶ 接客・商談の会話を見える化・分析するサービス「**AmiVoice® SF-CMS**」と、AIを活用して効率的な営業トレーニングを可能にするサービス「**AmiVoice® RolePlay**」を集合化した営業支援プラットフォーム「**AmiVoice® Sales Boost Platform**」の市場への導入活動を推進
- ▶ ストック比率：第1四半期末92.1%→当中間期末86.4%
- ▶ ライセンス数（累計）：第1四半期末6,739→当中間期末7,411



◆ **AmiVoice® Cloud Platform (ACP)**

開発者向け

シェアNo.1の音声認識エンジンを
API・SDKで提供する

 **AmiVoice® Cloud Platform**



AmiVoice API

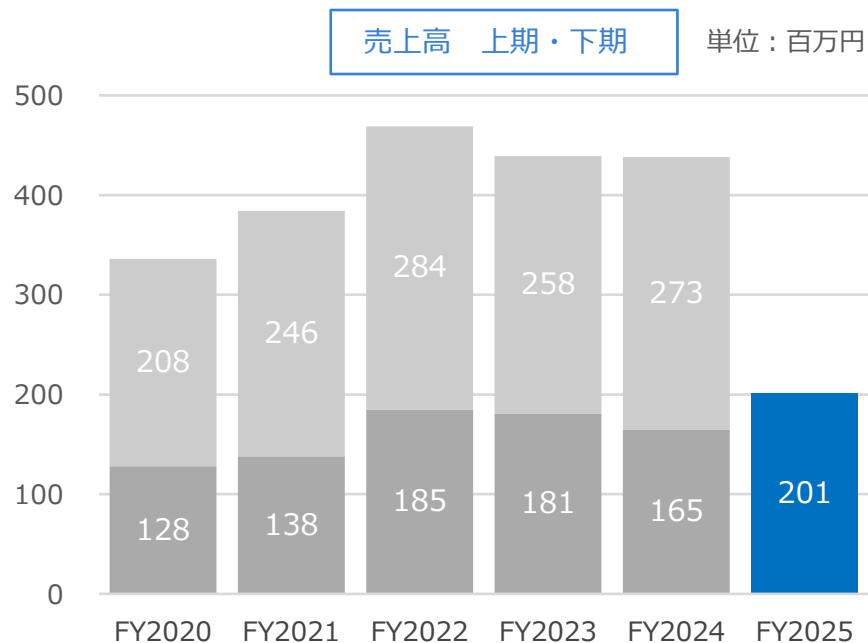


AmiVoice SDK

BDC本部（建設・不動産業界向け事業） / 海外事業部（海外企業向け事業）

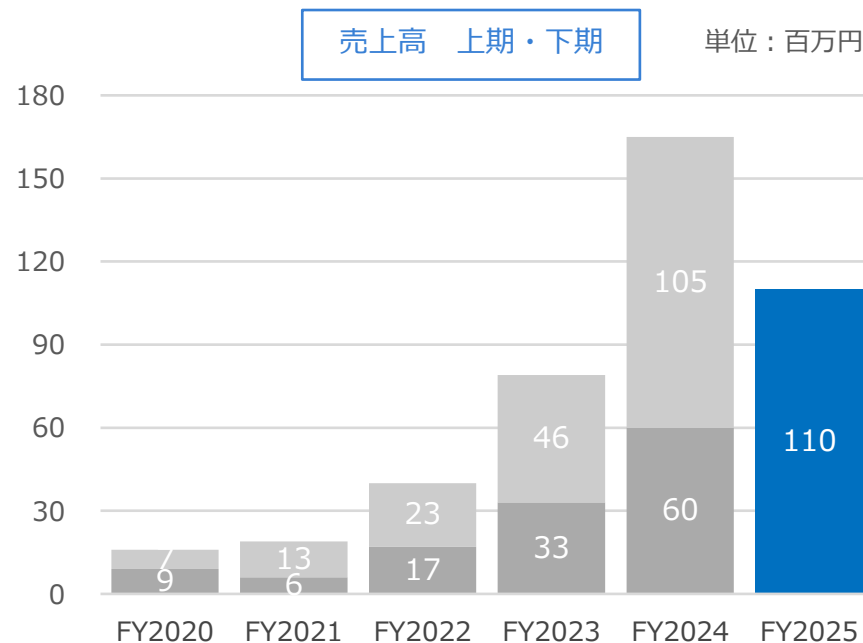
BDC本部（アミサポ）

- ▶ 建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「**AmiVoice®** スーパーインスペクションプラットフォーム（**SIP**）」の導入が進む
- ▶ 建築業界の人手不足を背景に、同サービスを活用した人材サービスが大きく伸長
- ▶ ライセンス数（累計）：
第1四半期末72,692→当中間期末76,524



海外事業部

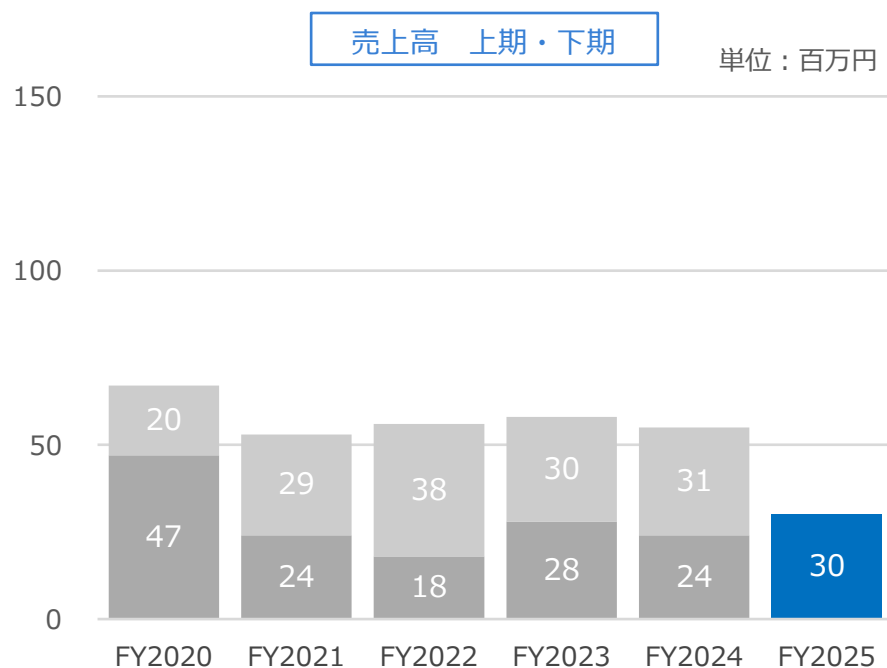
- ▶ 大口顧客の利用が堅調に推移



■ 連結子会社：AMIVOICE THAI・速記センターつくば

連結子会社（AMIVOICE THAI）

- ▶ 主要顧客に対する案件獲得と、収益改善に向けた事業構造の改革を進める



連結子会社（速記センターつくば）

- ▶ 自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得などを進め、増収

